

令和4年度 高大連携授業（後期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面とリアルタイム遠隔の併用型授業		大学等名	国際教養大学
科目名 (サブタイトル)	[20] 国際教養学への招待 (Invitation to International Liberal Arts)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	国際教養学部 国際教養学科 教授 奈良 寧 (計3名)	
授業概要	世界を理解するには何が重要か、大学での「学問がいかに楽しいか」、国際感覚を身に付けるには高校時代に何を準備すべきか等を、国際教養大学の教員が各専門分野の研究結果を踏まえ、様々な角度から指導します。			
授業方法と留意点	演習やワークショップ形式を中心に行うため、積極的に授業に参加することが期待されます。なお、受講者による事前準備はありません。新型コロナウイルス感染症の状況により、Zoomをしようとしたオンライン講義に変更する可能性があります。			
授 業 計 画				
【募集定員人数24名】先着順で募集を締め切ります				
< 11月12日(土) 11:00~12:30 > 教授 奈良 寧				
第1講: 「地上でビックバン直後の状態を作ろう」 物質の極限状態とはどのようなものであろうか?ビックバン直後の初期宇宙は超高温であった。一方、大きな星の最後の状態である中性星の中心部は、宇宙で最も密度が高い状態である。本講義では、物質の極限状態についての最新の研究成果を紹介する。(講義は日本語で行います。)				
< 11月12日(土) 13:20~14:50 > 助教 DU Wenti				
第2講: 「Winners and Losers from International Trade」 It has been a general consensus among economists that international trade brings overall benefits to the world. However, increasing trade across countries is not only likely to create winners but is also likely to create losers. This lecture provides an analysis of trade policy on contemporary issues related to international trade. (講義は英語で行います。)				
< 11月12日(土) 15:00~16:30 > 准教授 HYUN Ki Deuk				
第3講: 「A First Step to understanding Mass Media」 We spend much time in consuming mass media, like news, dramas, movies, advertisement, and others. Our continuous media use influences the way we think about the world and how we behave, and therefore it becomes necessary to develop the ability to understand, analyze and evaluate mass media. This lecture will introduce some basic concepts like elements and techniques used to make mass media texts to help students make sense of their media experiences. (講義は英語で行います。)				
その他				
テキスト	特になし(担当教員が各講義において、資料を配布することがある。)			
参考文献				
関連科目				
開講日時	11/12(土)			
	11:00~12:30	13:20~14:50	15:00~16:30	
会場	カレッジプラザ (秋田市中通2丁目1-5 1 明德館ビル2階)			
欠席連絡先	国際教養大学			
	電話(入試室): 018-886-5931 (平日9:00~17:00) E-mail: admissionoffice@gl.iau.ac.jp			